

第 20 回鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会 議事要点録

日 時：平成 28 年 1 月 13 日（水）14：00～15：40

場 所：鈴鹿市役所 本館 12 階 1203 大会議室

出席者：35 名（別紙『組織構成及び出席一覧表』参照）

組織委員 30 名（全 36 名中 出席 15 名，代理 15 名，欠席 6 名）

事務局（鈴鹿市）8 名

内 容：以下のとおり（要旨）

1 あいさつ

鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会 会長

鈴鹿市長 末松 則子 あいさつ

- ・今年度の F 1 日本グランプリは、本田技研工業株式会社がマクラーレンのパワーユニットサプライヤーとして参戦されたことや西コースエリアでの格安チケットの販売などの要因で、観戦客数が、昨年度より 10%増加し、16 万 5000 人となり、明るい兆しが見える結果となった。
- ・委員の皆様方のご協力により、大きなトラブルもなく無事に大会を終えることができ、心から感謝を申し上げる。
- ・F 1 日本グランプリは、鈴鹿市だけの観光資源ではなく、三重県、そして国の貴重な観光資源であるので、観戦者、本市周辺の市町や地域の皆様の満足度を上げるために、当協議会として交通アクセスの整備や様々なおもてなし事業に取り組んできた。
- ・本日の会議では、環境整備部会並びにおもてなし部会の取り組み結果について、各部会から報告をいただき、委員の皆様の御意見を賜りながら、来年度の事業計画づくりに繋げてまいりたい。
- ・これまでの取組を更にレベルアップさせ、一人でも多くの方にこの鈴鹿の地を訪れていただき、そして満足いただけるよう取り組んでまいりたいと考えている。
- ・2016 年の F 1 日本グランプリに向け、本日の会議が有意義な意見交換の場となるよう、委員の皆様に御協力をお願い申し上げ、私からの冒頭の挨拶とさせていただきます。

2 報告事項

(1) 新規加盟団体について

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

【資料1】『新規加盟団体について』に基づき説明

- ・ F1 ファンから高い評価を得ている中日スポーツ F1 特別号に、当協議会のイベント情報等を掲載いただいております。情報発信力の強化のためにも、当協議会に加入いただきたい。

(2) 規約改正について

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

【資料2】『規約新旧対照表』に基づき説明

- ・ 協議会の規約の変更，構成機関の改正。
- ・ 拍手多数で承認される。

中日新聞鈴鹿支部販売店 坂氏 あいさつ

- ・ 新聞や広告等で情報発信を行っていく。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(3) 2015年F1日本グランプリ大会結果報告について

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット総支配人 荒木常務取締役 説明

- ・ 資料『【鈴鹿サーキット全体レポート】2015F1 協議会用資料』に基づき説明
- ・ 昨年は、多大なご協力をいただき感謝申し上げます。
- ・ 昨年は、『JAPAN RISING』というテーマを設定し、ホンダのF1復帰ということで、ホンダに関するイベントを行った。
- ・ 世界の中でも日本グランプリほど、F1ドライバーとファンの距離の近いイベントのあるF1は他になく、日本グランプリの特徴である。
- ・ 学童ピットウォークについては、5校500名の生徒に参加いただいた。9月末の開催ということで、学校行事と重なり昨年より、参加人数が減少したが、チームと密に交流することができた。
- ・ 商工会議所様の協力で、白子駅ランドマークエリア除幕式を6人のF1チャンピオン経験者ととともに盛大に開催することができた。
- ・ F1ピットウォーク、ファンミーティングについては、昨年よりも増加した。
- ・ 海外からの来場者については、試算すると3,000人であった。為替の影響もあるが、海外からの観戦客が年々増加している。
- ・ 市民応援席についても、ホンダエンジンの復活ということで昨年を上回った。
- ・ 海外のお客様に実施したアンケートの結果について報告させていただく。
- ・ 来日が初めてという方が60%で、観光しながらレースを観戦する方が多い。
- ・ F1に馴染みのある欧米からの来場者が多い。
- ・ 近郊ホテルの宿泊客は関係者が多く、一般の来場者は、名古屋や大阪に宿泊

する方が多い。

- ・海外のお客様のお困りごとは、英語表記の不足であり、情報を得るのが難しいとの回答が多かった。
- ・2016年のF1は、10月6日から10日までの5日間開催する。
- ・マクラーレンホンダについては、今年よりも成績が良くなると予想しており、多くの来場者を期待している。
- ・伊勢志摩サミットの開催もあり、海外からの来場者はさらに増加すると考えている。海外の方が安心していただけるような企画等を展開していく。
- ・今年のテーマ『THE 1 AND ONLY』については、鈴鹿でしか味わえないF1グランプリの意味をこめて設定した。

(4) 2015年 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会の取り組み結果について

①環境整備部会

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

- ・環境整備部会の取組については、多くの関係者の皆様にご協力をいただいているので、資料3『環境整備部会資料』に基づき各事業者より説明をお願いしたい。

【国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所・松本氏】

- ・資料3『環境整備部会資料』P1～P6に基づき説明
- ・P2 下段に国土交通省が関わった施策を記載している。①～⑤は継続して実施している施策で、今年度から新たに、⑥「みち録」動画による周辺状況の情報提供、⑦イオンモール鈴鹿での市民向けPRを実施した。
- ・渋滞の緩和については、決勝日の平均旅行速度の低下時間を極力短くすることを目標としている。
- ・今年は、例年より短い3時間45分で渋滞が収束した。
- ・渋滞の規模としては、7km程度の速度低下ということで、例年どおりであった。
- ・鈴鹿サーキットから関西方面、関東方面へお帰りの方は、最寄の高速道路のICを目指すより、一般道を走行し迂回する方が、どの時間帯でも所用時間が短くなるとPRしている。
- ・関西方面は、鈴鹿ICを利用するよりも、国道1号を走行し亀山ICを利用した方が、どの時間帯でも所要時間は短くなる結果となった。
- ・関東方面は、鈴鹿ICを利用した方が、推奨ルートの国道23号線を走行するよりも所要時間が短くなるという結果となった。
- ・来年以降も国道23号線を走行した方が早いとPRしたいが、今回は、最寄の

鈴鹿 I C を利用する方が所要時間が短くなるという結果であった。

- ・国道 23 号線において、事故や交通規制、観戦者の利用の増加はなく、例年よりもレース終了時間が早かったため、レース観戦客の帰宅時間と四日市市内の渋滞が重なってしまったことが原因ではないかと考えている。今後、鈴鹿サーキットや鈴鹿市内に留まってもらうなど、帰宅時間を遅くしてもらう案内をするなど検討していく。
- ・F1 観戦者へのアンケート結果については、鈴鹿サーキット周辺、シャトルバスの運行状況ともに、問題なし、許容の範囲、との結果であった。
- ・スマートフォンを活用した情報提供については、一般のアクセス数が微増し、20%の方が、A c P r o から情報を入手している。
- ・シャトルバス専用レーンについては、利用者が 11%増加し、白子駅の乗降者の 72%がシャトルバスを利用している。年々シャトルバスの利用が増加している。
- ・「みち録」動画については、今年度からの新たな取り組みで、約 2 万アクセスという結果であり、評価としては、わかりやすいとの意見を多数いただいたので、来年度以降も改良しながら運用していきたい。

【近畿日本鉄道・都司氏】

- ・資料 3 『環境整備部会資料』 P7 に基づき説明
- ・白子駅定期外乗車人員は 2 万 6 千人、通常の定期外乗車人員は 2,000 人程度であるので、F1 グランプリでの利用は約 2 万人である。
- ・27 日の往路については、7 時から観戦客がお越しになり、10 時から 11 時にピークがあり、復路については、16 時から 18 時までピークが継続したが、白子駅前が整備されたこともあり、スムーズに対応することができた。
- ・臨時列車については、昨年同様の本数を運行し、臨時特急については、大阪方面の往路・復路 1 本ずつ、名古屋からの往路 3 本、復路 1 本を運行した。臨時急行については、復路を 5 本運行した。
- ・白子駅西口の階段下にパイロンを設置し、導線の確保を行った。
- ・スマートフォンからの乗車券購入などのサービスを実施し、窓口の混雑の緩和を図った。
- ・往復乗車券を P R したことにより、昨年に比べ利用が 2 倍増加した。
- ・三重交通様、鈴鹿警察署様、ボランティアの皆様の協力のもと、白子駅を安全に運営することができた。
- ・今後、I C 乗車券やチケットレスサービスなどの利用促進を P R していく。

【伊勢鉄道・富澤氏】

- ・資料 3 『環境整備部会資料』 P8～P10 に基づき説明

- ・今年度のF1輸送実績は、3年ぶりに増加し2万8千人の利用があり、2年前と同水準であった。25日、26日の利用者は、減少したが、決勝日の27日は増加した。
- ・決勝日の名古屋方面の8人に1人が外国人の方ということで、外国人利用者が増加した。
- ・決勝日のスタートが1時間早まったことで、駅構内は16時から17時に最も混雑したが、ほとんどのお客様に希望の列車に乗りいただくことができ、例年になくスムーズな対応ができた。
- ・海外誘客については、2012年から三重県様のご支援により、JapanRailPass利用者に復路が無料となるウェルカムパスを配布し、3日間で1000人の方の利用があった。名古屋方面からお越しのお客様の8人に1人が外国人の方であった。
- ・トリップアドバイザーPRについては、外国人旅行者の満足度の向上を図るとともに、三重県に再訪いただけるようなPRを行った。
- ・鈴鹿サーキット稲生駅については、ポスターの掲示、仮設照明、仮設トイレの設置を行った。
- ・交通規制については、鈴鹿警察様、地元自治会様にご協力いただき円滑に実施することができた。
- ・鈴鹿市河曲公民館サークルフォト講座・鈴鹿市シルバー人材センターの写真愛好家の皆様の写真を車内に掲示し、鈴鹿F1写真展を行った。
- ・2016年は10月の3連休に開催ということで、決勝翌日が休みのため傾向が変わることから、利用者の動向調査のもと各種調整していく。
- ・外国人観戦者の増加が見込まれることから、外国人むけの案内チラシや看板などの充実と、英語表記だけでなく、その他の言語表記の対応も検討いただきたい。
- ・JapanRailPassについては、来年以降、予算措置がとれないとのことであるが、外国の方に好評であるので、継続実施を検討していく。
- ・京都・大阪方面からの公共交通ルートにおいて、新幹線を利用し、名古屋を経由する観戦客も存在することから、公共交通ルートに設定することを提案させていただく。

【三重交通・岡氏】

- ・資料3『環境整備部会資料』P11に基づき説明
- ・白子駅から鈴鹿サーキットへのシャトルバスの運行については、F1開催時の9月25日は6時から18時の時間帯で運行し、26日は6時から20時、27日は6時から20時30まで運行した。決勝日は30分延長した。
- ・中勢バイパスをバス専用レーンと活用させていただき、片道、ピーク時に

においても 20 分程度の所要時間で円滑に運行することができた。

- ・白子駅のシャトルバスの乗降については、25 日はロータリーにて対応。26 日 27 日については、商店街の皆様にご協力いただき、商店街通りを臨時バス乗り場とさせていただき、3 台から 4 台の同時発車をさせていただいた。
- ・乗車券の発売については、昨年より、白子駅から鈴鹿サーキットに変更しており、円滑な販売をすることができた。
- ・シャトルバス乗降場として、鈴鹿サーキット 8 番駐車場をお借りし、決勝時の往路のピークにおいて 75 台体制、5 台から 6 台の同時着車を行うことができた。
- ・稲生高校北交差点における交通規制によって、8 番駐車場前道路の入口の混雑が解消された。
- ・輸送実績としては、延べ往復 39,682 名となり、昨年比 3,600 名増加する結果となった。
- ・名古屋駅への直通バスについては、前年比 872 名減少した。昨年は 3 日間運行したが、今年は 26 日、27 日の 2 日間のみ運行し、完全予約制とした。観光バスの確保が難しいため、運行日数を減らし、当日乗車の受付をしなかった。
- ・今後、外国人対応について、さらに力を入れていきたいと考えている。

【中日本高速道路株式会社名古屋支社桑名保全・サービスセンター・水野氏】

- ・資料 3『環境整備部会資料』P12～P15 に基づき説明
- ・25 日の各 IC の出口渋滞の発生状況については、鈴鹿 IC において、9 時 45 分から 10 時 56 分まで最大 0.7 k m の出口渋滞が発生した。本線においては、下り線の渋滞予測を 5 k m としていたが、鈴鹿～四日市間で、7 時 20 分から 12 時 25 分まで、最大 9.3 k m の渋滞が発生した。
- ・26 日、27 日については、出口渋滞は発生しなかった。本線についても 5Km 以上の渋滞は発生しなかった。
- ・渋滞対策の実施状況については、鈴鹿 IC の出口信号の調整を鈴鹿警察様の協力のもと 25 日に実施し、出口渋滞の緩和を図った。
- ・期間中、6 時から 13 時まで、標識車配置による迂回推奨を行った。
- ・出口渋滞対策として、鈴鹿 IC において出口渋滞末尾の警戒を実施した。
- ・ハイウェイラジオ・ハイウェイテレフォン・広域標識板にて情報提供を行った。
- ・往路各 IC の出口交通量については、鈴鹿 I C において、25, 26 日に減少した。その他の I C においては、全て増加している。
- ・各 I C の入口交通量については、全ての I C において増加した。特にみえ川越 IC の最終日の増加率 33% となった。みえ川越 IC を推奨するという案内がお客様に浸透している。

- ・断面交通量については、全てのICにおいて交通量が増加し、最終日の増加率が顕著であった。
- ・伊勢志摩サミット開催前の4月4日から16日の2週間、リフレッシュ工事を行う。

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット・久田氏】

- ・資料3『環境整備部会資料』P16～P17に基づき説明
- ・観戦者にスムーズにお越しいただき、スムーズにお帰りいただくことに注力し、取り組んだ。
- ・シャトルバスについては、中勢バイパスの規制により、円滑に運行することができた。
- ・中勢バイパス規制により、サーキット交差点北の交通量を抑制することができ、アクティブランドに駐車した観戦ツアーバスを円滑に運行することができた。
- ・徳田町北および稲生西交差点の中勢バイパス規制により、サーキット周辺に流入する車両を抑制することができた。
- ・道伯周辺交差点については、鈴鹿警察様に信号を操作いただき、帰路の混雑を緩和することができた。
- ・直営の4駐車場に3日間のべ1万台の駐車があった。
- ・アクセスマップについては、鈴鹿マガジン様へ移行となった初のF1でありAcProや帰路マップ等を掲載いただいた。
- ・委員の皆様におかれては、本年も引き続き、ご協力よろしくお願ひしたい。

【鈴鹿市中央消防署・江藤氏】

- ・資料3『環境整備部会資料』P18～P19に基づき説明
- ・F1開催期間中の26日、27日、のべ46人の職員を派遣した。
- ・救護者については、2日間通じて、125名であった。
- ・救急車による搬送については、2日間通じて、0名であった。

【事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長】

- ・資料3『環境整備部会資料』P20～P35に基づき説明
- ・交通円滑化について、今年度の特徴を報告させていただく。
- ・F1日本グランプリの3日間の観戦客は2014年と比較し1万5千人、10%の増加であった。来場者の機関分担については、公共交通が3,000人、5%の減少、自動車が1,000人、2%の減少であった。
- ・今年度の特徴は、鈴鹿周辺の渋滞解消時間が1時間短縮されたこと。公共交通機関の利用率が、目標を達成できなかったことである。

- ・渋滞解消時間の短縮については、2014年と比較し、自家用車の来場者が1,000人減少したことによる乗用車の減少。高速バスの34台減少。貸切バスの20台減少などのデータから、市内への車両流入が減ったことが要因ではないかと考えている。
- ・公共交通機関の利用率が、昨年より5%減少した。要因については、近鉄四日市駅前の四日市くすのきパーキングおよびJA四日市駐車場の利用が、昨年に比べ300台減少しており、近鉄の利用が減少したことが影響していると考えている。来年度は、パーク&レールライドを推奨していく。
- ・2014年のF1日本グランプリにおいて、シャトルバスの運行に遅れが生じたが、今年度は、鈴鹿サーキット北側にあるコンビニの交差点の信号操作や稲生高校北側ランプの交通規制において、関係機関様に、ご協力いただいたおかげで、ピーク時においても20分程度の所要時間という円滑な運行をすることができた。

②おもてなし部会

事務局 鈴鹿市 小野観光・モータースポーツ振興GL 説明

- ・資料4『おもてなし部会資料』に基づき説明。
- ・各事業を実施いただいた団体より説明をお願いする。

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット・上甲氏】

(F1ジュニアピットウォーク)

- ・9月24日、鈴鹿サーキット国際レーシングコースピットにおいて、5市1町の小学4~6年生を対象に、ピットウォークを実施した。
- ・昨年より参加校が減少し5校であったが、事前学習においてモータースポーツ友の会様やその他関係者様のご協力により、F1の知識の向上やチームとの交流が、例年以上に充実したものとなった。
- ・2016年は、より良いものとなるよう取り組んでいきたい。

【鈴鹿商工会議所・山西氏】

(ウェルカム鈴鹿日本グランプリ感謝セール)

- ・商工会議所の会員企業65社にご協力いただき、9月13日から9月27日に実施し、新聞にクーポン付チラシを6万部折り込んだ。
- ・クーポンの利用実績については、34店舗、336件であった。
- (インフォメーション(通訳ボランティア)ブース)
- ・F1開催期間中、通訳ブースを3箇所設置し、外国人来場者へのおもてなしの一環として、駅周辺の案内や会場の案内など行った。

- ・のべ57名のボランティアにご協力いただいた。
(その他)
- ・9月24日(木)11時から近鉄白子駅西口ロータリーにおいて、モータースポーツのまち鈴鹿のランドマークエリアとして、2014年のF1日本グランプリ表彰台3選手の手形、サイン、タイムを刻印したプレートとモニュメントを設置させていただいた。
- ・関係者様にご協力いただき盛大に開催できたこと、感謝申し上げます。

【鈴鹿商工会議所青年部・久畑氏】

(鈴鹿商工会議所青年部F1応援イベント)

- ・F1開催期間中の9月25日(金)から27日(日)に、鈴鹿サーキット園地内において、メッセージोटドケ隊、くれないのチェッカーフラッグ、チェッカーの街!SUZUKAボディペイント、鈴鹿で会いたい市場を実施した。
- ・新たな取り組みとしてチェッカー柄のボディペイントを行い、好評であった。
- ・3日間のべ4000人の動員があった。

(Fツイ割)

- ・Fツイ割とは、twitterを活用し、協賛店舗に割引や特典を得ることができる取り組みで、今年度は鈴鹿市内、市外の店舗44店舗にご協力いただいた。

【鈴鹿モータースポーツ友の会・中野氏】

(オリジナル絵馬で優勝祈願)

- ・勝速日神社との共同事業で、オリジナル絵馬を作成・販売した。
- ・今年度は4回目の取り組みということで、新たにデザインを変更し2種類の絵馬を鈴鹿サーキット園地内および鈴鹿市観光協会にて販売した。絵馬については、決勝日の朝の時点で、作成した209枚全て完売となった。
- ・全国の皆様に鈴鹿に親しんでもらい、勝速日神社が鈴鹿の新たな名所となるよう取り組んでいく。

(F1日本グランプリ観戦会)

- ・F1ファンに鈴鹿の魅力を知ってもらうことを目的に、友の会の会員を対象に初めて実施した。
- ・合宿形式の観戦会を実施し、伊奈富神社での宿泊、市民応援席での観戦を行い、参加者が8名と少なかったが、好評をいただいた。
- ・鈴鹿のF1の名物となるよう、各関係団体様と連携し実施していきたい。

【鈴鹿市観光協会・西山氏】

(鈴鹿市観光協会の取り組み・手荷物預かり所)

- ・9月25日、26日、27日の3日間の7時から21時30まで実施した。
- ・実績については、346個であり、2014年度の295個に対し17%の増加という結果であった。
- ・手荷物預かり所の利用者は、近鉄白子駅からシャトルバスを利用する方がほとんどで、今年度シャトルバス利用者が13%増加したということから、手荷物預かり個数についても増加したと考えている。

【ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋・大石氏】

(華麗なる食材のコラボレーション‘地産地消’愛知・三重 with ランス)

- ・愛知、三重、フランスのランスの3都市の食材を豊富に使用したフェアを開催した。フレンチ・中華・バイキングの3つのレストランで提供した。
- ・ランス地方のシャンパンについては、F1の表彰台で使用されるシャンパンである。ランス市長も来日の際にお越しになり、評価いただいた。

【三重県雇用経済部観光局・谷合氏】

(三重県の取組)

- ・サポート宿泊施設については、県内の宿泊促進のために、三重県観光連盟とともに取り組んだ。今年度は8施設に参加いただき、昨年度のべ774泊に対し、のべ879泊の利用があった。その内、外国人の利用は全体の6割以上の540泊であった。
- ・各施設においては、F1に関する特色ある取り組みを実施いただいた。
- ・各施設からは、来年度も引き続き実施したいとお言葉をいただいている。
- ・情報発信については、平成25年4月から三重県観光キャンペーンを実施しており、オフィシャルガイドブックの中で、F1を紹介させていただいた。
- ・みえ旅パスポートについては、鈴鹿サーキット園地内において、臨時発給、特別スタンプの押印を行い、3日で750冊を発給した。
- ・9月19日から11月15日の期間、三重県総合博物館Mie Muにて企画展を開催し、24,222人の来館者があった。他の企画よりも男性客、県外からのお客様が多かった。
- ・セントレアにおいては、昨年に引き続き7月1日から9月30日の期間、国内線到着連絡通路にて、F1日本グランプリのPR、熱田護氏の写真展示を行った。
- ・伊勢志摩サミットまで残り4ヶ月となり、三重県が世界から注目を集めている中で、F1協議会の一員として、関係団体様と連携し、日本を代表するイベントであるF1日本グランプリを盛り上げていきたい。

【事務局 鈴鹿市 小野観光・モータースポーツ振興GL】

- ・事務局よりその他のイベントについて報告させていただく。
- ・イオンモール鈴鹿展示については、9月19日から27日まで、熱田護写真展を開催した。19日には、「キックオフイベント2015」を開催し、F1開催機運の高まりや地元前夜祭の周知を行った。
- ・F1映画祭については、9月24日から27日までイオンシネマ鈴鹿にて映画祭を開催した。「ラッシュ/プライドと友情」を上映したが、動員数が201名と伸び悩む結果となった。
- ・鈴鹿日本グランプリ地元前夜祭については、イオンモール鈴鹿様に協力いただき、9月25日にイオンモール鈴鹿第3駐車場にて地元前夜祭を開催した。
- ・ステージイベントとして、佐藤琢磨選手とピエール北川さんによるトークショー、トライアル全日本チャンピオンの小川友幸選手などによるトライアルショー、ダンスチームによるパフォーマンスなどを実施し、多くの観客に楽しんでいただいた。
- ・フリーマーケットやご当地グルメなどの販売ブースを出展いただいたが、当日、小雨が降っていたこともあり、販売ブースの売り上げが伸びなかった。
- ・前夜祭の会場が鈴鹿サーキットより離れた場所となったため、鈴鹿サーキットとイオンモール鈴鹿とを結ぶシャトルバスを運行した。
- ・動員数としては、過去最高となり約5,000人であった。
- ・三重県5市1町観光・物産PRブースについては、9月25日から27日まで、園地内に協議会のブースを開設し、観光・物産のPRやみえ旅パスポートの臨時発給などを行い、約3000名の観戦客にお立ち寄りいただいた。
- ・のぼり旗・横断幕の設置については、9月19日から27日まで、各ICや近鉄白子駅前、周辺市町、鈴鹿市内のホテル・旅館等へのぼり旗や案内看板などを設置させていただき、開催雰囲気の高まりを図った。
- ・タウン雑誌（鈴鹿マガジン）については、F1に合わせて発行されるF1日本グランプリ別冊号を増刷し、園地内でのPRブースや鈴鹿市旅館業組合、鈴鹿市観光案内所で配布させていただいた。
- ・クーポンフラッグの掲出については、得得クーポンやFツイ割、鈴鹿マガジンのクーポン参加の各店舗に共通フラッグを掲出するとともに、協議会HP上にて全店舗をマッピングし、利用者の利便性向上を図った。
- ・歴代優勝者タペストリーの提出については、9月26日、27日の両日、白子駅前センター商店街振興組合様により、アーケードに歴代優勝者タペストリーを掲出いただいた。
- ・鈴鹿F1写真展 IN 伊勢鉄道については、今年度の新たな取り組みで、伊勢鉄道様にご協力いただき、9月18日から28日まで、伊勢鉄道車内の中吊り広告部分で、F1写真展を開催した。

- ・その他、鈴鹿サーキット稲生駅への仮設トイレ及び照明の設置やHP上での宿泊情報やイベント発信, セントレアでの写真展開催等をさせていただいた。
- ・アンケート調査結果については、当協議会のPRチラシを作成し周知を図ったこともあり、回答数が昨年より約2.5倍増加し、704通の回答があった。
- ・実施した各イベントについては、約8割の方から好評価をいただいた。
- ・市内の飲食店利用については、クーポンの認知度が50%、利用が9%という結果であり、いかに周知し、地域振興を図るかが課題である。
- ・詳細については、おもてなしに関するアンケート調査結果にてご確認いただくようお願いしたい。
- ・2016年F1日本グランプリの決勝日が10月9日(日)であり、決勝日翌日が祝日となることから、今までの取り組みをさらに向上させるとともに、魅力的な後泊促進イベントを開催し、交通渋滞の緩和や地域振興につなげて行きたいと考えている。

3 その他

【鈴鹿商工会議所・山本氏】

・2015F1日本グランプリの表彰台3選手の手形を現在製作中である。それをモータースポーツ都市のためのランドマークエリアに本年も設置するが、設置イベントを開催するかも含めて企画を検討している。関係者様には、ご協力をお願い申し上げます。

15:40 終了